

村田きょうこ マンスリーレポート



No.032 <2024 年 5 月号>

皆さん、ご安全に！村田きょうこです。

1月から始まった通常国会も終盤に入りました。6月23日の会期末に向けて、法案審議が続きます。ものづくりのカーボンニュートラルを進めるための「水素社会推進法案」「CCS 事業法案」の審議も始まりました！

1. フュージョンエネルギー推進議連が発足



4月25日（木）、核融合技術*の最短距離での実用化を目指す「フュージョンエネルギー推進議員連盟」の設立総会が開催されました。また当日は、基幹労連、電機連合、電力総連の組合役員の方々にも出席いただいています。

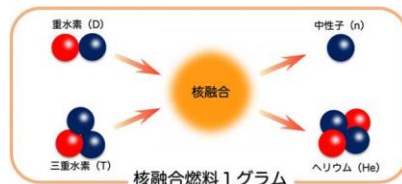
総会の冒頭に確認された役員構成では、会長に大島敦衆議院議員（立憲）、副会長に吉良州司衆議院議員（有志）、山岡達丸衆議院議員（立憲）、浅野哲衆議院議員（国民）、幹事長に竹詰仁参議院議員（国民）、事務局長に森本慎二参議院議員（立憲）と、基幹労連国政フォーラム議員が名を連ね、私も事務局次長の役割を担わせていただくことになっています。

今回は政府からは国家戦略を、また有識者からは技術開発の現状と課題について講演をお聞きし、実用化が見通せるところまで研究が進んでいることを確信しました。日本にとって、エネルギーセキュリティの確保は非常に重要な課題です。脱炭素社会と経済成長の両立を推進するために、「小さな太陽」といわれるフュージョンエネルギーが、世界に先駆けて日本で実用化されるために、私も全力で応援してまいります！



【核融合とは】

水素の仲間である重水素（D）と三重水素（T）の原子核が融合することで、ヘリウムと中性子が生成されます。この反応によって、大きなエネルギー（1グラムのDT燃料の核融合から発生する熱量は石油約8トンに相当）を生み出します。実際、太陽などの恒星は、核融合によって生み出されるエネルギーで光輝いています。この核融合を、新しいエネルギー源として地上で作るための研究が、日本をはじめとする多くの国や地域が協力して行われており、順調にいけば2050年には実用化されるのではと言われています。



2. 選挙応援で飛び回った4月でした



4月は各級選挙が目白押しで、私も市議選では地元鹿児島と富津に、そして衆議院の補選では島根と東京にそれぞれ出向き、激励挨拶や応援演説などを行ってまいりました。各地でご協力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。今回当選された議員の方々と連携しながら、地方から、国政から、皆さまの声を届けてまいります。

そして衆議院補欠選挙では、立憲民主党が擁立した3候補とも当選！**自民党や岸田政権に対する国民の皆さんの批判の声を、しっかりと受け止めることができた結果**だと考えます。次期衆議院議員総選挙に向けて、この勢いをさらに拡大し、いざ、政権交代！

3. 労働者の祭典 メーデーに今年も参加！



4月27日（土）は中央メーデーに、5月1日（月）は大阪地方メーデーに参加しました！大阪はあいにくの雨でしたが、たくさんの皆さんとお会いし、いろいろとお話を聞くことができました！



中央メーデーでは「郡山りょう」と一緒にガンバロー！

4. 4月の国会見学 9組 230人



4月は合計200人を超える方たちに来館いただきました！ありがとうございます！！



基幹労連 非鉄関連部会



三菱マテリアル総連 青年層研修会



基幹労連 愛知県本部



JAM 山陽・岡山県本青年女性



JAM リング共闘



住重労連男女共同参画推進委



JAM 甲信 政治連盟



アズビル労働組合



JAM 北東北

今号は以上です。